園だより　1月　　2019年　　学校法人こひつじ学園丸山小羊幼稚園

明けまして　おめでとうございます。

今年も　ご家族の皆さま方と共に、幼い命が輝くために、互いの幸いのために、心を寄せ合い、知恵を出しあい、努力していきたい。子どもたちの成長する姿に接しながら、わたしたち自らが力づけられ、励まされて、この新しい年を、精一杯歩んでいきたいと願っています。
どうぞ、宜しくお願い致します。

さて今年の干支は「猪」ですね。聖書では「猪」は「豚」と同じです。

「神聖なものを犬に与えてはならない。また、真珠を豚に投げてはならない。それを足で踏みにじり、向き直ってあなたがたにかみついてくるであろう。」　新約聖書　マタイによる福音書７章６節

「豚」とあるのは「猪」と同義語、猪を飼いならしたのが「豚」つまり、「豚」の先祖が「猪」なのです。全体の意味は、一口で言えば「他の人に無理じいするのはよくないですよ」。たとえ自分には価値のある高価なもの(真珠)だと思っても、相手にとっては必ずしもそれに値打ちがあると思うか、別の事です。
なぜなら、人間は一人ひとり、個別で異なるもの、親子でも、子どもでも、みんな違った心を持っているのですね。それに自分にとって値打ちのあるものは時間と共に変わるもの、端的に言えば人間の評価、価値観は時代と共に「過ぎさるもの」だからです。人間の誰も、時代の流れを阻止することはできない。

相手がだれであれ、たとえ子どもであっても、「何に値打ちがあり、自分にとって大切かは本人自身に決めさせればよい。親がこの方が値打ちがあるからと思って、一方的に子どもに押し付けるのはどうでしょうか。子どもはそれなりに、自分の価値理解、考えがあるものです。
今は「真珠」は彼らには似合わないけれども、いつかきっと「真珠」という宝物を欲しがる時がくるかもしれない。その時にはまさに自分の力で、それを獲得するでしょう。
それまで私たちは、楽しみに待ちましょう･

☆　ありがとう･･････☆　　高木善之　「地球村」代表

人はだれも、幸せのために　生まれてきました。不幸のために生まれてきた人はいません。みんなが幸せでないと本当の幸せではありません。
そのことがはっきり分かれば、些細なことで悩んだりしません。
あなたは　幸せの種まきに、生まれてきたのです。
　　あなたが　生まれてきたことに　ありがとう。･･････